

今後の進め方について（案）

1. 訪日外国人旅行者数 2000 万人の目標達成が視野に入ってきたことを踏まえ、次の時代の新たな目標の設定とそのために必要な対応の検討を行い、中間報告の後、年度内を目途にビジョンをとりまとめる。
2. ビジョンの検討の高度化に資するため、別紙のとおりワーキンググループを開催し、当該ワーキンググループにおいて、ヒアリングや意見交換等を行う。

明日の日本を支える観光ビジョン構想会議
ワーキンググループの開催について（案）

平成 27 年 11 月 日
明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定案

1. 明日の日本を支える観光ビジョン構想会議における検討の高度化のため、ヒアリングや意見交換等を行うべく、ワーキンググループを開催する。
2. ワーキンググループの構成員は、次のとおりとする。ただし、座長は、必要があると認めるときは、関係者に出席を求めることができる。
座 長 内閣官房長官
座長代理 国土交通大臣
構 成 員 内閣官房副長官（政務及び事務）
内閣総理大臣補佐官（地方創生担当）
内閣官房副長官補（内政担当）
内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補（内政担当）付）
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官
総務省大臣官房総括審議官
法務省入国管理局長
外務省大臣官房国際文化交流審議官
財務省関税局長
厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長
経済産業省商務情報政策局長
国土交通省観光庁長官
3. ワーキンググループの庶務は、国土交通省の協力を得て、内閣官房において処理する。